

## 山浦善樹さんの本、紹介

上原 昇 (2組)

最高裁判事 (2012 年から 16 年まで 4 年半) を務めた弁護士の山浦善樹さん (63 期、丸子町出身) が本を上梓した。

山浦さんには、退官後の 2017 年 6 月に、関東同窓会第 56 回総会で講演をしていただき、大好評であった。

その時の演題は「最高裁判事になったマチ弁の思うこと」。

刊行された本の題名は『お気の毒な弁護士 最高裁判所でも貫いたマチ弁のスキルとマインド』(弘文堂から 20 年 12 月 30 日付け発行)。

大学法学部教授の後輩学者二人が聞き手になって山浦さんが答える、いわゆるオーラルインタビュー形式で綴られる 450 ページを超える大冊である。

小さい頃から絵を描くのが好きだったという山浦さんは、本の各所に出てくるイラストもご自分で描いたものとのこと。イラスト (挿絵) を見て思わずニヤっとしてしまうほど上手だ。

山浦さんは高校時代、新聞班に所属、生徒会では生徒会長を務めている。

本にも登場する奥様の成子さんは高校の同級生である。

実は、去年の 10 月 24 日 (土)、上田高校創立 120 周年記念式典で山浦さんに講演をお願いしていた。ところが、コロナの影響で式典は来年に延期されてしまった。120 周年記念事業委員長の日置勇二さん (60 期、前同窓会理事長) に頼まれて、当時同窓会本部理事だった同期の丸山暢久君 (4 組) と 3 人で、山浦法律事務所 (神田) に講師のお願いに行っただけに残念であった。

講演の代わりということではないが、この本を読むと山浦さんの生い立ちから人生観、仕事への立ち向かい方などが良く分かる。

上田高校の廣田校長のブログを覗いたら「山浦先生から本を寄贈いただきました。図書館に置いて紹介します。先生の人生に対する温かい眼差しを感じます。

この本を図書館で見れば、法学部志望者が増えるかもしれません」とあった。

読みではあるが、面白いので読みだしたら止まらない。

特に法曹界 (司法の世界) に興味のある人にはお薦めである。

(2020 年 12 月 27 日記)



【写真】山浦法律事務所にて（前左から山浦、日置、後左から丸山、上原）

